



「目標への道程」

校長 樋浦 康光

桃の花もほころび始め、人形の街「岩槻」は、彩とりどりの雛人形が飾られ、一層活気にあふれています。先日は、「第3回学校運営協議会」が開催され、今年度の教育活動の評価と来年度の学校経営方針について仮承認がなされました。熟議では「城南中学校区小・中一貫教育の一層の充実」について、活発且つ建設的な意見が交わされ、本校の魅力化向上の大きなヒントを得ることができました。詳しくは、コミュニティー・スクール通信No. 21「支え合い」を御参照ください。

さて、先日、ある競技ドッジボールチームAから私に、6年生最後の大会となる埼玉県ドッジボール大会（優勝すると全国大会へ出場）の指導者としてベンチ入りしてほしいという依頼がありました。そのチームのメンバー構成は、6年生の男子Bさんが一人で、他は全員5年生以下の男女でした。結果は1勝も挙げることはできませんでした。大会後のチーム内ミーティングでBさんは涙をこぼしながら、チームメイトに対して次のようなメッセージを贈っていました。「僕のせいで負けてしまってごめんなさい。でも、みんなと一緒に最後までドッジボールができて楽しかったです。本当にありがとうございます。」聞いていたチームメイトも全員涙を流しながら彼の話に聞き入っていました。私は大会当日のみベンチ入りしただけでしたので、彼らの今日に至るまでの練習への取組や大会にかける思いは分かりません。しかし、Bさんのメッセージを聞いて、このチームが素晴らしい取組をしてきたのだと一瞬で理解しました。「僕のせいで」→失敗を人のせいにしない、「楽しかった」→仲間への配慮や感謝、そして「Bさん及びチームメイトの涙」→ドッジボールにかける情熱や一生懸命な練習、あのメッセージの中にチームAのすべてが凝縮されていました。チームAは、全国大会出場という「目標」は叶えられませんでした。健全な人間育成という観点では、目標への「道程」の中で達成できたと思います。

本校に目を移し、今年度の児童の授業や学校生活の様子を振り返ってみます。先日の児童集会では、6年生が1年生を優しく導いていました。音楽朝会では、オンラインながらも全校児童がリズムと心を合わせながらきれいな歌声を響かせていました。また、各学級とも学級目標達成に向けて教科や教科以外の活動（係活動、給食、清掃活動等）も含めて、たくさんの学びを経験しました。新和っ子も「目標」達成に向けての「道程」の中で心身共にのびのびと大きく成長しました。

さて、令和5年度も残りわずかとなりましたが、皆様のおかげで今年度も大きな成果を挙げることができました。詳しくは、後日、本校ホームページにアップされる「学校自己評価システムシート」を御参照ください。また、皆様からお寄せいただいた学校評価アンケート結果をもとに、令和6年度に向けて、さらなる改善が図れるように準備を進めてまいります。

明日3月1日からはリフレッシュされた体育館が使用できるようになります。卒業証書授与式では、真新しいフロアで、小学校6年間の教育課程を立派に修了する卒業生の新たな門出を心を込めてお祝いし、修了式では、在校生に対し、この一年間の努力を認め精一杯称賛したいと思います。令和5年度も本校の教育活動に対する御理解・御協力・御支援、本当にありがとうございました。